

環境王国「いわて」を担う
いわて第2クリーンセンター

環境活動レポート 2020

(2019年度実績報告)

対象期間 2019年4月1日~2020年3月31日



2020年6月1日 管理棟前にて

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松本 榮市

発行日 2020年6月1日

もくじ

1. 会社概要	P1
2. 事業概要	P2
3. 施設概要と特徴	P3
4. 許可品目	P5
5. 環境方針	P6
6. 組織図	P7
7. 役割と責任・権限	P7
8. 環境目標と活動実績	P8
9. 環境活動の結果と評価	P8
10. 代表者による全体の評価と見直し	P13
11. 環境保全活動	P14
12. 資格・免許・認定	P17

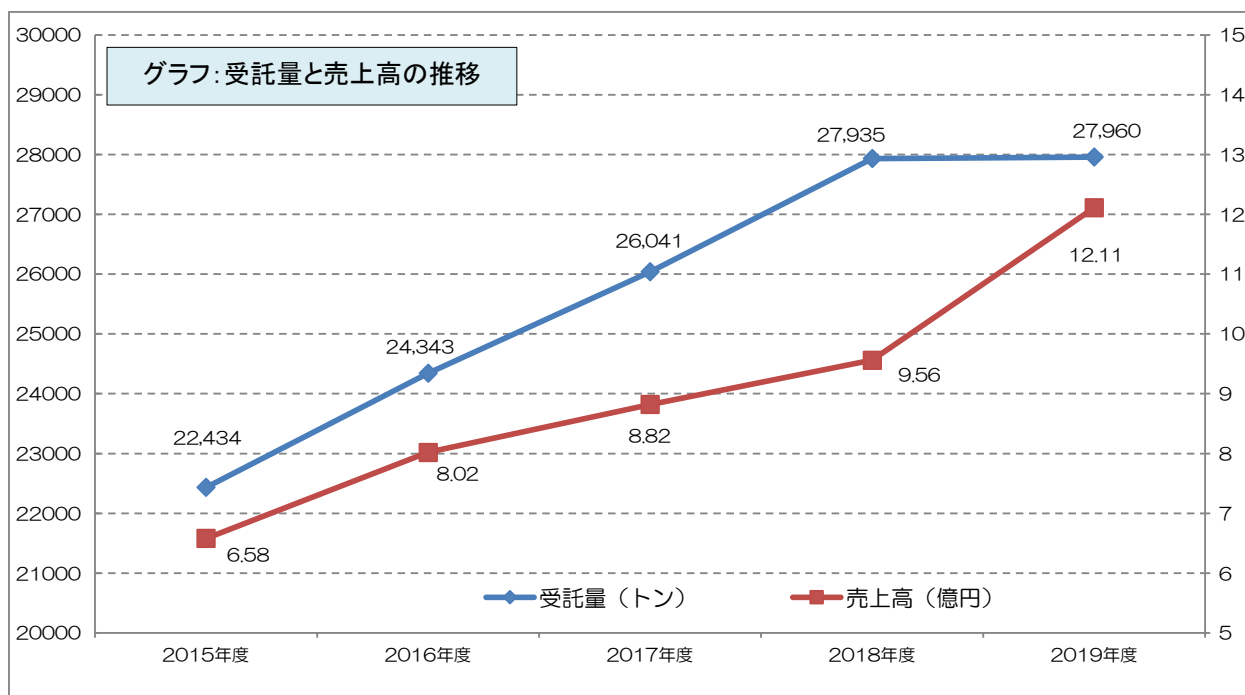


1. 会社概要

会社名 : いわて県北クリーン株式会社
 施設名 : いわて第2クリーンセンター
 所在地 : 〒 028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第20地割48番地34
 代表者 : 代表取締役 松本 榮市
 業務開始 : 2009年4月(設立:2006年4月)
 資本金 : 9,000万円
 株主 : 株式会社タクマ ・ 株式会社タクマテクノス ・ 西松建設株式会社
 事業内容 : 産業廃棄物の中間処理業 ・ 一般廃棄物の処理業 ・ 売電事業
 従業員数 : 36名(2019年4月1日現在)
 事業面積 : 約70,000㎡
 環境管理責任者 : 村田 英敏 ・ コミュニケーション窓口 : 村田 英敏
 TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550
 Mail info@iwate2cln.co.jp URL <http://www.iwate2cln.co.jp>

会社の沿革：

- 2006年 4月12日：株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
- 2007年 10月30日：環境大臣による廃棄物処理センター指定
- 2008年 3月29日：産業廃棄物処理施設の設置許可取得
- 2009年 1月 7日：産業廃棄物処理施設の処分業許可取得（許可番号：00329146787）
- 2009年 1月 7日：特別管理産業廃棄物処理施設の処分業許可取得（許可番号：00379146787）
- 2009年 4月 1日：事業開始
- 2009年 6月 8日：一般廃棄物処理施設の処分業許可取得
- 2009年 6月30日：基準適合産業廃棄物処理業者認定（中間処理★★取得）
- 2010年 2月15日：エコアクション21取得
- 2012年 8月30日：いわて地球環境にやさしい事業所認定 ★★★★★取得
- 2014年 11月11日：産業廃棄物処分業の事業範囲の変更（破碎中間処理追加）
- 2015年 5月15日：産業廃棄物処理施設設置許可取得（破碎中間処理施設設置）
- 2015年 5月28日：産業廃棄物処分業の事業範囲の変更（破碎中間処理追加）



2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とするPFI事業で運営を行っています。岩手県の「自県内処理の推進」及び「資源循環型社会の形成」に基づき、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「熔融設備」・「破碎設備」があり、あらゆる性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、安定的かつ安心な施設となっています。

3. 施設概要と特徴

施設名称 : いわて第2クリーンセンター
設置規模 : ロータリーキルン&ストーカ炉 87.9 t/日 ×1 基
燃料式表面溶融炉 13t/日 ×1 基
破碎施設 ×1 施設
ボイラ型式 : 三胴式廃熱ボイラ
最高使用圧力 : 3.30 MPa
常用使用圧力 : 2.90 MPa
蒸気温度 : 241℃
最大蒸発量 : 10.2 t/h
タービン形式 : 復水タービン
最大発電出力 : 840 kW



排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1.0	0.1
SO _x (ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
NO _x (ppm 以下)	250	100
塩化水素 (ppm 以下)	430	80
ばいじん (g/m ³ N 以下)	0.08	0.02

多種多様な廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の適正処理

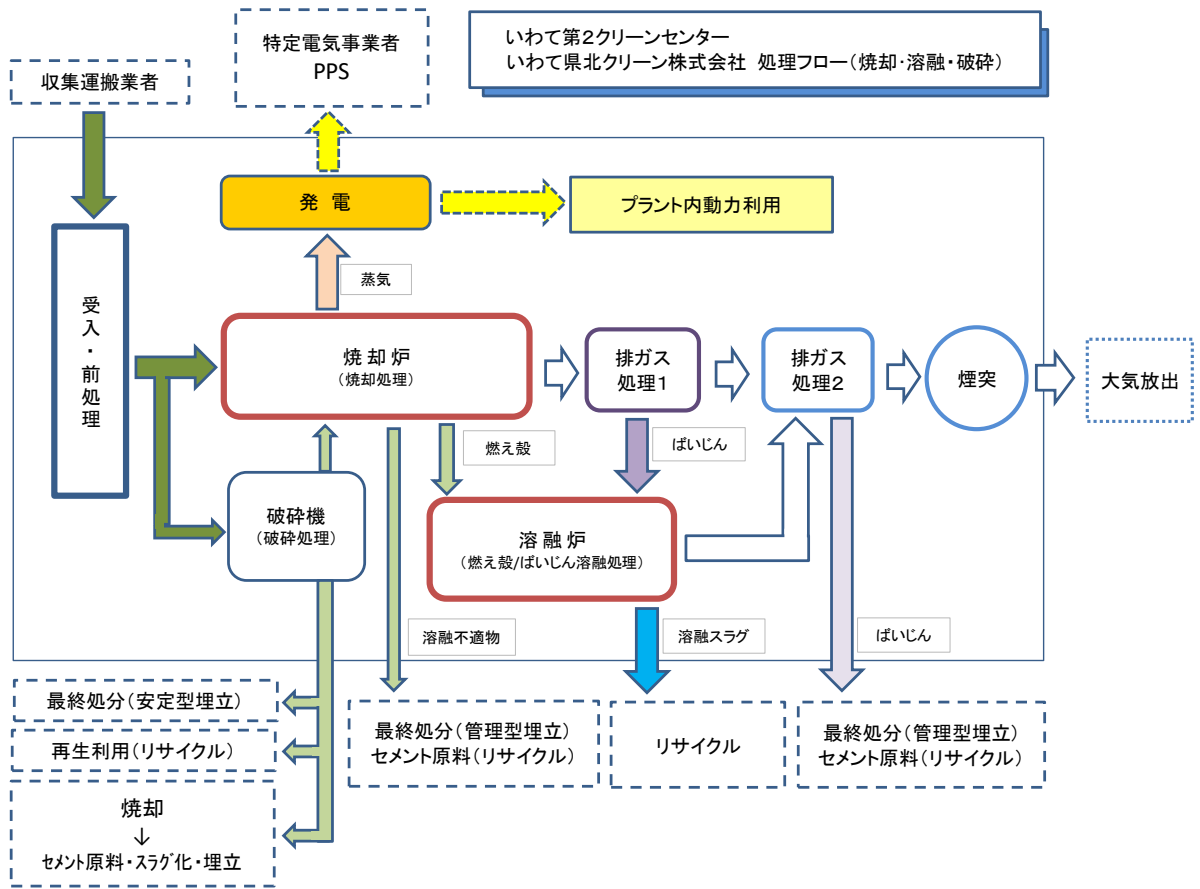
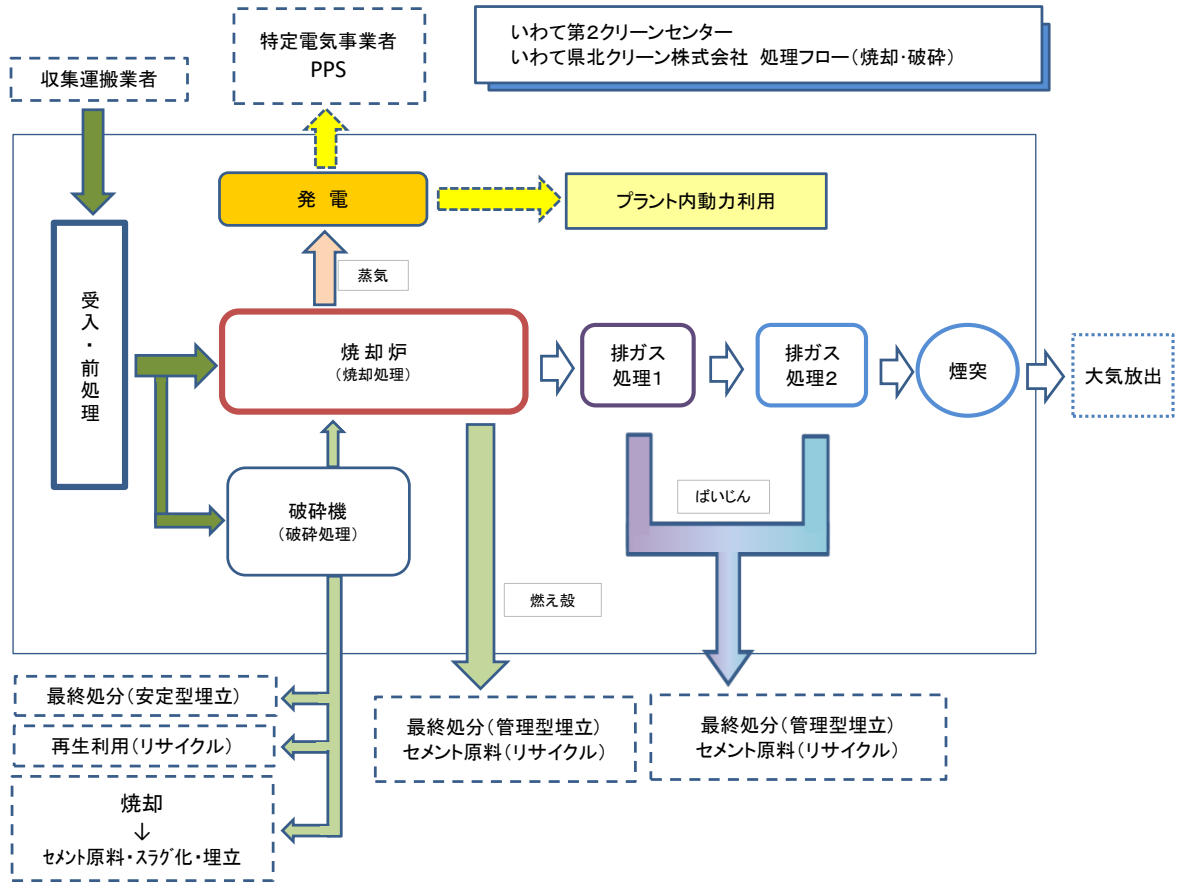
- ◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
 - ・ 焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値） ※法規制値 800℃以上
 - ・ 溶融炉内温度 1300℃以上

省エネ・資源リサイクルの促進

- ◎ 蒸気タービン発電機 最大 840 kW（発電設備） ※廃熱ボイラ蒸気利用
施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電

周辺環境への配慮

- ◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
- ◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
- ◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策床基礎の導入
- ◎ 臭気を外部に放出させない換気システム



4. 許可品目

焼却施設

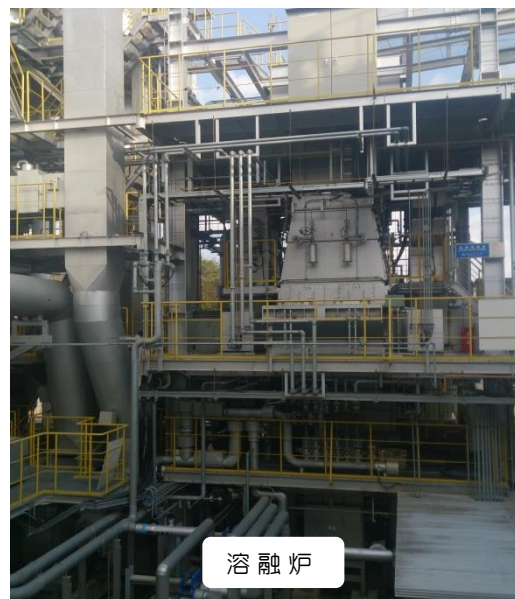
○産業廃棄物

- ① 燃え殻
- ② 汚泥
- ③ 廃油
- ④ 廃酸
- ⑤ 廃アルカリ
- ⑥ 廃プラスチック類
- ⑦ 紙くず
- ⑧ 木くず
- ⑨ 繊維くず
- ⑩ 動植物性残さ
- ⑪ 動物系固形不要物
- ⑫ ゴムくず
- ⑬ 金属くず
- ⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑮ 動物のふん尿



○特別管理産業廃棄物

- ① 廃油
- ② 廃酸
- ③ 廃アルカリ
- ④ 感染性産業廃棄物
- ⑤ 燃え殻
- ⑥ 汚泥



熔融施設

○産業廃棄物 ① 廃プラスチック類 ② 汚泥

○特別管理産業廃棄物 ① 汚泥

破碎施設

○産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 紙くず
- ③ 木くず
- ④ 繊維くず
- ⑤ ゴムくず
- ⑥ 金属くず
- ⑦ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑧ がれき類

環境方針

《基本理念》

いわて県北クリーン株式会社は、積極的に熱利用を行い、廃棄物の未利用エネルギーを効率的に利用することで CO₂ を削減し、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。そのためにエコアクション 21 のシステムを導入し環境活動を展開します。

《行動指針》

1. 環境にやさしい事業運営に努めると共に、地域社会に貢献する企業をめざし活動に取り組みます。
2. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
 - (3) 使用する水の抑制に努めます。
 - (4) グリーン購入の推進に努めます。
 - (5) 化学物質の削減に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を深め、積極的に取り組みます。

制定：平成 22 年 5 月 1 日

改定：平成 27 年 6 月 9 日

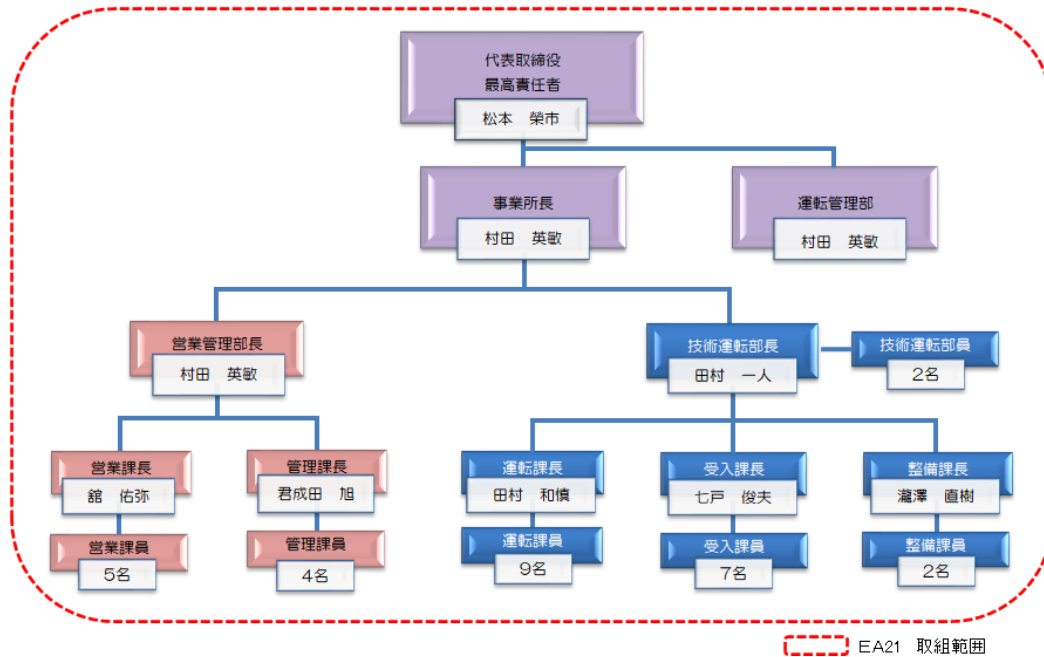
いわて第 2 クリーンセンター

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松本 栄市



6. 組織図 (2019年4月1日現在)



7. 役割と責任・権限

役割	担当者	役割と責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組に対する資源を用意 ④環境方針を作成する
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告 ③必要な教育訓練を計画し実施
E A21 事務局	技術運転部	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へE A21 の目標数値を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告
防災責任者	防火管理者	①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	事業所長	①安全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	営業管理部長 技術運転部長	①取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	①取組み項目に対して積極的に実施 ②環境保全活動への積極的な参加

8. 環境目標と活動実績

各年度目標値に対するの達成度

■ 目標達成

■ 目標未達

※達成判定は90%以上とする

	単 位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1 受電電力量の削減	kWh/t	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
2 重油使用量の削減	L/t	0.55	2.10	1.61	0.89	2.05
3 軽油使用量の削減	L/t	2.26	2.57	2.37	2.37	3.24
4 ガソリン使用量の削減	L/t	0.33	0.39	0.35	0.32	0.35
5 上水使用量の削減	m ³ /t	0.72	0.51	0.5	0.48	0.51
6 温室効果ガスの削減	kg-CO ₂ /t	10.5	12.2	13.3	12.8	16.1
7 発電電力量の増加	kWh/t	217.4	240.6	219.8	222.9	235.6
8 廃棄物受託量の増加	t/年	22,434	24,343	26,041	27,935	27,960
9 消石灰使用量の削減	kg/t	29.4	29.4	23.2	16.1	17.2
10 グリーン購入率の増加	%/年	86.0	86.0	100	100	100

9. 環境活動の結果と評価

「 受電電力量の削減 」

2019年度 目標 0.0kWh/t

2019年度 実績 0.0kWh/t

達成率 100.0%

取組内容

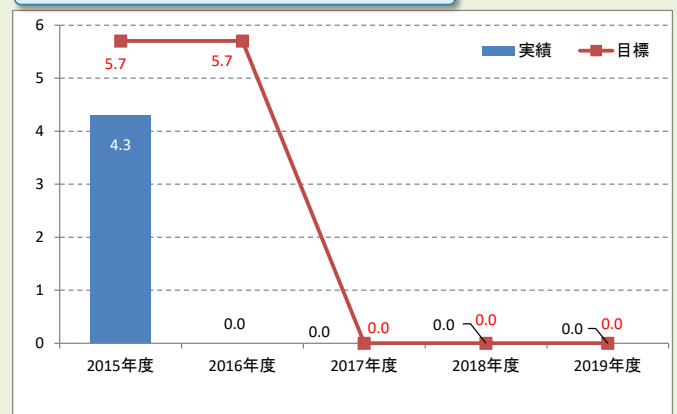
安定的な発電により受電電力を削減できるように投入ゴミの熱量を均一化する。

活動結果と評価

安定的な発電が出来たため、受電量削減が出来た。

*2018年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.000437 (t-CO₂/kWh)

受電電力量の削減 (kWh/t)



< 2020年度 目標 0.0kWh/t >

取組内容

投入ゴミの均一化、安定的な発電を意識した燃焼管理を行う。

「 重油使用量の削減 」

2019年度 目標 0.89L/t

2019年度 実績 2.05L/t

達成率 43.4%

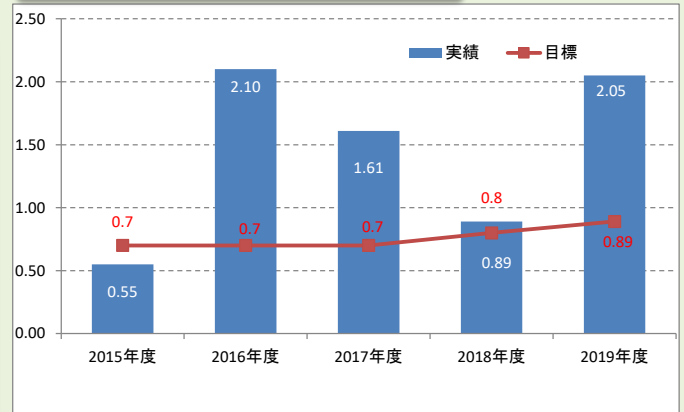
取組内容

炉内温度低下時は廃油を有効的に処理することで、助燃用の重油使用量を削減する。

活動結果と評価

定期整備のための一時的な使用量増加があった。炉内クリンカによる供給不良が多発したため、助燃としての重油使用量が増えた。

重油使用量の削減 (L/t)



<2020年度 目標 1.16L/t>

取組内容

次期取組からは通常操業時の使用量で評価する。炉内にクリンカが出来ないように運転する。

「 軽油使用量の削減 」

2019年度 目標 2.37L/t

2019年度 実績 3.24L/t

達成率 73.1%

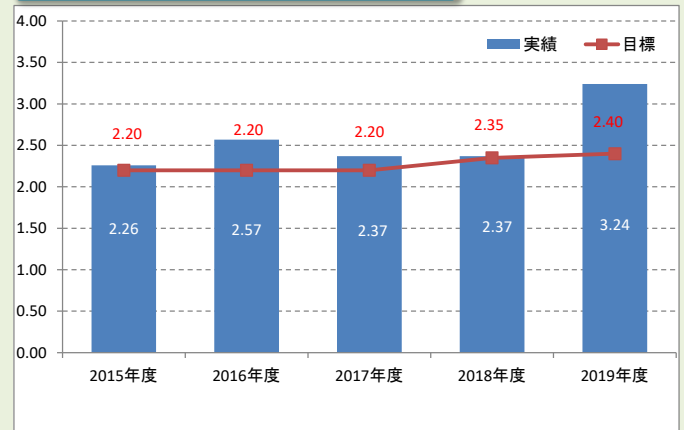
取組内容

- ・作業効率を上げて重機使用時間を短縮する。
- ・小まめな点検清掃で重機を適正に保ち燃費を向上させる。

活動結果と評価

若干の削減は出来たが、軽油の使用量が増え大きな成果を出せなかった。

軽油使用量の削減 (L/t)



<2020年度 目標 2.90L/t>

取組内容

- ・作業効率を上げて重機の使用時間を短縮する。無駄なアイドリングをしない。
- ・小まめな点検清掃で重機を適正に保ち燃費を向上させる。

「 ガソリン使用量の削減 」

2019年度 目標 0.32L/t

2019年度 実績 0.35L/t

達成率 91.6%

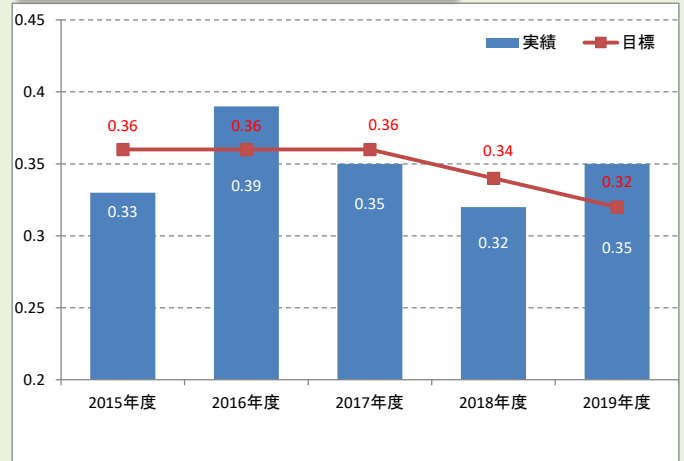
取組内容

計画的な運行計画により、無理な運転を避けてエコドライブ運転に努める。

活動結果と評価

計画的な運行計画、エコドライブを意識して運転することが出来た。

ガソリン使用量の削減 (L/t)



<2020年度 目標 0.34L/t >

取組内容

計画的な運行計画、エコドライブを意識しての運転を継続する。

「 上水使用量の削減 」

2019年度 目標 0.48 m³/t

2019年度 実績 0.51 m³/t

達成率 94.8%

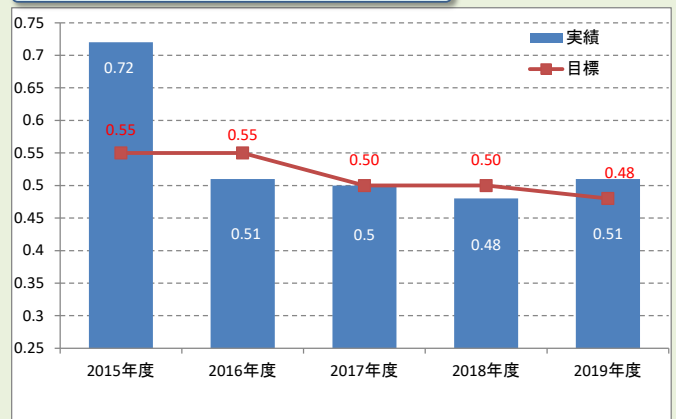
取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。

活動結果と評価

調整池水を有効活用した事が、上水使用量の削減につながった。

上水使用量の削減 (m³/t)



<2020年度 目標 0.48 m³/t >

取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。
各洗濯機の適正（まとめ洗い）使用。

「 温室効果ガスの削減 」

2019年度 目標 12.8kg-CO₂/t

2019年度 実績 16.1kg-CO₂/t

達成率 78.9%

取組内容

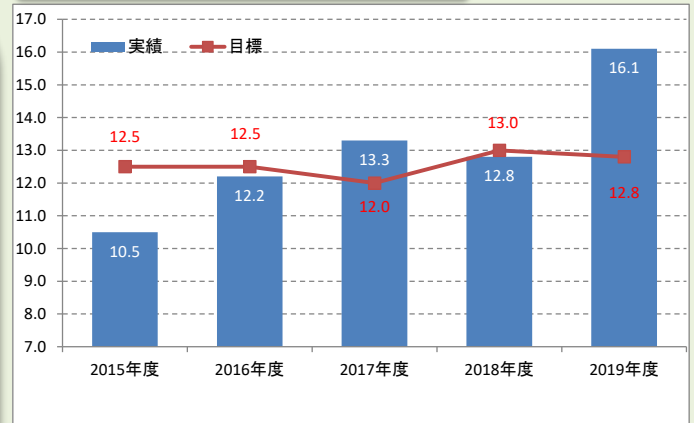
重油や軽油使用量の削減と、受電電力量の削減。

活動結果と評価

定期整備による重油の使用量の増加と軽油の使用量増により排出量が増加した。

*2018年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.000437 (t-CO₂/kWh)

温室効果ガスの削減 (kg-CO₂/t)



<2020年度 目標 13.8kg-CO₂/t>

取組内容

継続して重油と軽油の削減をし、安定した運転に努める。

「 発電電力量の増加 」

2019年度 目標 223.0kWh/t

2019年度 実績 235.6kWh/t

達成率 105.2%

取組内容

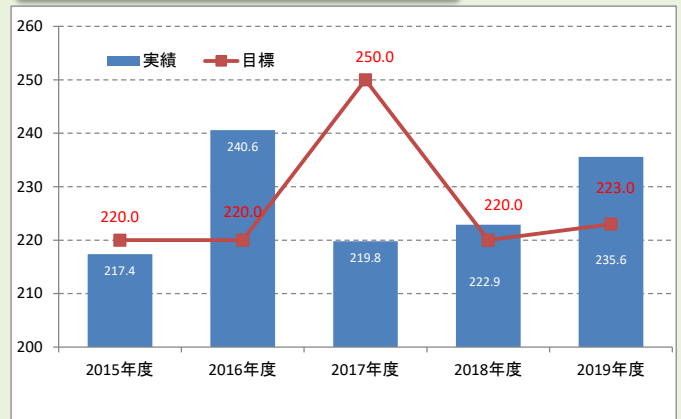
廃棄物の性状を均一化させるためのゴミ攪拌を定期的に行う。

活動結果と評価

安定した燃焼管理と廃熱ボイラ水管を定期的に清掃することで発電量が増えた。

*二酸化炭素排出係数：0 (t-CO₂/kWh)

発電電力量の増加 (kWh/t)



<2020年度 目標 236.0kWh/t>

取組内容

廃棄物の均一化と安定した燃焼管理を継続する。

「 廃棄物受託量の増加 」

2019年度 目標 29,500 t/年

2019年度 実績 27,966 t/年

達成率 94.8%

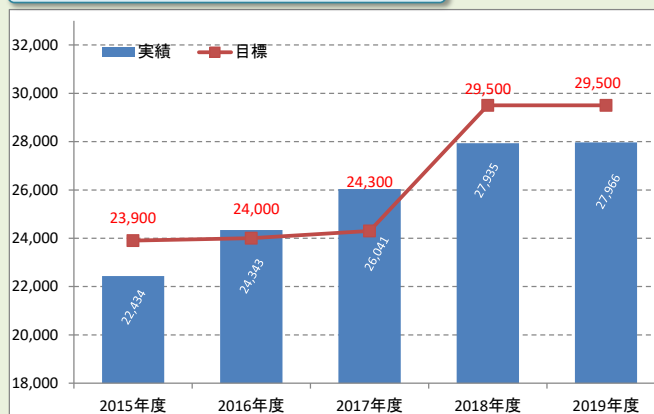
取組内容

継続的な顧客営業と新規顧客獲得へ注力する。

活動結果と評価

情報収集に注力できた。

廃棄物受託量の増加 (t/年)



<2020年度 目標 28,800 t/年>

取組内容

情報収集に注力すること、ヤード保管庫の効率的な運用。

「消石灰使用量の削減」

2019年度 目標 16.0 kg/t

2019年度 実績 17.2 kg/t

達成率 92.9%

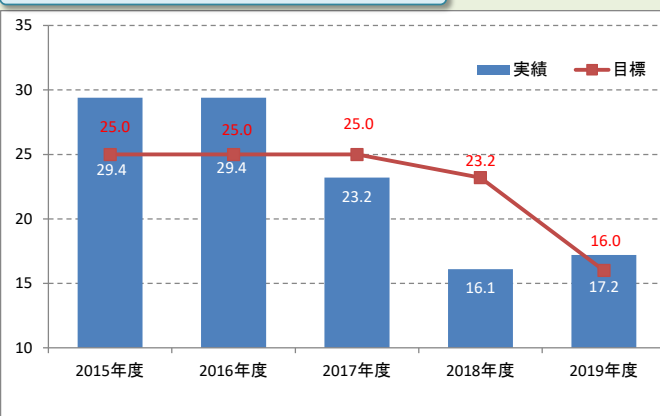
取組内容

消石灰設定値の小さな変更により更なる削減を行う。

活動結果と評価

継続して設定の変更や消石灰の吹込み量を手動で操作することが削減につながった。

消石灰使用量の削減 (kg/t)



埋め立てによる最終処分から、全量を製錬処理によるリサイクルに変更したため、2020年度から、取組項目対象外とする

「グリーン購入率の増加」

2019年度 目標 100.0%/年

2019年度 実績 100.0%/年

達成率 100.0%

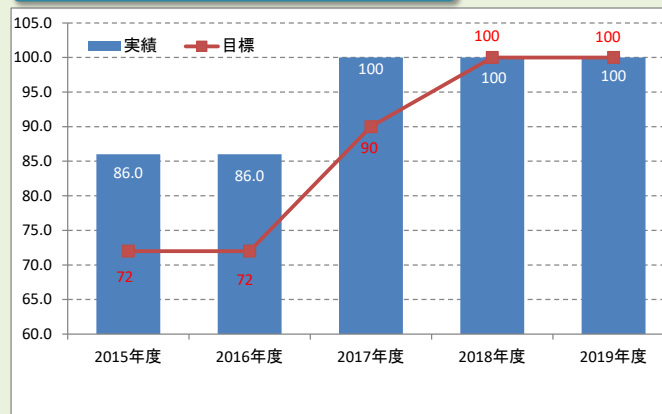
取組内容

グリーン商品とエコリサイクル商品を積極的に購入する。

活動結果と評価

すべてグリーン商品を購入した。

グリーン購入率の増加（%/年）



継続して100%達成できていることから、
2020年度から評価是正項目対象外とする。

(※取り組みは継続する)

10. 代表者による全体の評価と見直し

1.結果に対する評価

ほとんどの項目は評価できる結果となっている。重油については評価方法に問題があると考えられる。

2.全体の見直し

全般的な活動は継続でよいと考えており、安定した活動を維持させること。「重油使用量」は今後通常操業時の使用量で評価すること。「消石灰使用量の削減」は、全量リサイクルとなったため、評価是正対象項目から除外する。また「グリーン購入率」は連続して100%達成となったため、引き続き取り組むこととするが、評価是正対象項目から除外する。

3.次期取組みへの指示

各活動の状況を常に把握しながら臨機応変に対応すること。

11. 環境保全活動

イベント関係

実施日	実施項目	実施内容
4月13日	クリーン九戸行動日	九戸村のゴミ拾いイベント
8月9日	環境整備活動	九戸インターから会社までのゴミ拾い活動
8月28日	環境報告会（事業報告会）	地域住民・県内企業を対象とした事業報告会
9月1日	九戸村民スポーツ・レクリエーション大会	パークゴルフの部参加
11月2・3日	九戸村産業・芸術文化まつり	産業部門出展

セミナー・講習会

実施日	実施項目	実施内容
7月3日	産業廃棄物処理優良事業者育成研修会	産業廃棄物処理事業者向けの研修会
7月18・19日	ボイラ・タービン主任者会議	ボイラ・タービンの管理者会議
11月13日	環境経営トップセミナー	他事業者の環境経営、取組に関する講習会
11月26・27日	産業廃棄物処理優良事業者育成研修会	改正廃棄物処理法に基づく適正処理について
1月29日	化学物質リスクアセスメントセミナー	化学物質の取扱いに関する講習会

教育・訓練

実施日	実施項目	実施内容
5月8・10日	CSR教育	中堅社員研修
10月15日	避難訓練・消火訓練	二戸消防署九戸分署による訓練指導
11月6日	健康教育	九戸村保健衛生班の保健師による健康教育
11月6日	拡散防止訓練	廃棄物の漏洩を想定した訓練

クリーン九戸行動日

2019年4月13日に行われた「クリーン九戸行動日」に従業員18名とその家族数名で参加しました。風が強く肌寒い日でしたが、仲間達とゴミを拾いながら歩くと、数キロの道のりでも時間が経つのが早く感じました。拾ったゴミは、ポイ捨てされた空ビンや空き缶が多く、あっという間にゴミ袋が重くなりました。



環境整備活動

2019年8月9日、当社の環境整備活動として、九戸インター入口～道の駅おりつめ敷地内～当社までのゴミ拾いをしました。年々ゴミの量は減っているようですが、依然として空き缶やタバコの吸い殻が多く目立ち、いまだにマナーの悪い人がいるんだと思いながら拾いました。

九戸村に立ち寄られた方たちに気持ちよくインターや道の駅が利用してもらえるよう、今後も地域貢献として継続して活動していきたいと思っております。



環境報告会(事業報告会)

2019年8月28日に関連企業様、岩手県様、九戸村様等々、沢山の方にお越しいただき、環境報告や施設見学を行い、環境負荷低減・環境活動や当社の日頃の取組みを報告しました。

今後とも取組や事業内容等を情報公開することで地域の皆様に安心していただけるよう心がけるとともに、企業として環境保全を常に念頭に置き、来年度も良い報告ができるよう日々取組みたいと思っております。



事業運営の説明の様子



施設見学の様子

2019年度 避難訓練

2019年10月15日二戸消防署九戸分署様ご指導の下、避難訓練を行いました。火元は破砕物ヤードという想定で、火災発見時の連絡や場内放送などを行い、全従業員が素早く避難できたと思います。消防署の方から評価を頂き、今後気を付けるべき点もわかりました。その後、新入社員を中心に水消火器を使用して、消火訓練も行いました。いつ、どこで起こるか分からない火災被害を拡大させないよう気を付けていきたいと思います。



九戸村産業・芸術文化まつり

2019年11月2日～3日に開催された「九戸村産業芸術文化まつり」に今回で8度目の出展をさせていただきました。今回は、子供達を中心に楽しんでもらえるようお菓子釣りコーナーを設け、多くの子供達や親子連れが挑戦してくれました。パソコンでの出題に変更した環境クイズでは、子供から大人まで積極的に挑戦していただき、また恒例の景品くじ引き大会では、長蛇の列となり両日ともに大盛況でした。回を重ねる度に足を運んで下さる地域の方々が増え、それに伴い皆様方との交流が増えてきていると実感しております。今後ともよろしくお願い致します。



焼却炉設備の模型コーナー



パソコンでクイズに挑戦



お菓子釣り大会

12. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
E	エコスタッフ講習	2名
C	環境社会検定試験（ECO検定）	2名
O	エコドライブ講習	1名
管 理 士	産業廃棄物処理施設技術管理士	2名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	2名
	破砕・リサイクル施設技術管理士	1名
廃 棄 物	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	3名
	特別管理産業廃棄物処理業に関する講習（処分業課程）	1名
	特別管理産業廃棄物処分業に関する講習（収集・運搬業課程）	1名
	産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース	16名
	産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）	1名
車 両 ・ 整 備	第一種普通自動車免許	41名
	第一種大型自動車免許	4名
	大型特殊自動車免許	5名
	ガソリン自動車整備士3級	1名
	ディーゼル自動車整備士3級	1名
	シャシ整備士3級	1名
ボ イ ラ	第2種ボイラ・タービン主任技術者	1名
	1級ボイラ技士	10名
	ボイラ整備士	1名
	ボイラ取扱従事者安全衛生教育	1名
電 気	第二種電気工事士	2名
	低圧電気取扱者教育	1名

	資 格 ・ 取 得	取得者数
危 険 物	甲種防火管理者	1名
	乙種第4類危険物取扱者	17名
	丙種危険物取扱者	4名
技 能 講 習 ・ ク レ ン	高所作業車運転技能講習	2名
	車両系建設機械（整地等）	23名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	23名
	フォークリフト技能講習	28名
	玉掛け技能講習	9名
	ガス溶接技能講習	22名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	12名
	有機溶剤作業主任者技能講習	10名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	6名
	小型移動式クレーン運転技能講習	2名
	床上操作式クレーン運転技能講習	2名
	クレーン運転業務特別教育	20名
特 別 教 育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育	3名
	ダイオキシン類特別教育	28名
	安全衛生推進者養成講習	3名
	アーク溶接特別教育	14名
	粉じん作業特別教育	1名
	チェーンソー伐木業務特別教育	2名
	普通救急救命講習	34名
	自由研削用といし作業特別教育	3名
	刈払い機作業安全衛生教育	2名
	高所作業車運転技能講習特例講習	2名
第2種酸素欠乏等危険作業特別教育	2名	

【所在地案内図】



いわて県北クリーン株式会社
(Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.)